

令和3年度教育指導の重点及び学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校番号	学校名
21	大垣北高等学校

学校教育目標	人間尊重を基調とし、智・徳・体の調和のとれたたくましく豊かな人間性を育み、高い志とグローバルな視野をもって人類・社会に貢献できる有能な人材を育成する。そのため、“誠実・友愛・努力”を本校の生活信条とし、その具現に努める。	
(教育指導の重点) 今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 教職員の働き方改革を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の適切な対応策を講じ、生徒や教職員の安全確保に努めます。	① 勤務時間の弾力的な運用を積極的に活用するとともに、ICT機器を使った業務の簡素化、部活動や補習の見直し、常に最終退校時刻を見通した校務運営、勤次郎の正確な打刻等により、教員の働き方改革を推進する。 ② 新型コロナウイルス感染症の正確な理解と適切な行動変容を生徒に啓発するとともに、健康観察や消毒、換気の励行、密となる行事の大幅な見直し等により感染防止を徹底する。	① 教員の時間外勤務は、月45時間、年間360時間以内 ② 感染症クラスターを発生させない。
2 生徒の主体的な学習態度と教員のICT能力を培い、確かな学力の伸長を図ります。	① 生徒の主体的な学習態度と教員のICT能力を培い、教材や指導法の改善を図るとともに、タブレットやGoNetなど、校内のICT環境を効果的に活用することで、「地域共創フラッグシップハイスクール」としての探究的な学びを推進する。 ② 新学習指導要領の教育課程について、編成方針を明らかにして編成するとともに、観点別評価の方法を研究し、新課程に向けた準備を行う。	① ICT機器を効果的に用いた教材開発や指導法の改善により、生徒の深い学びを実現する。 ② 新学習指導要領の教育課程を編成し、本校における観点別評価の導入計画を策定する。
3 キャリア教育を通して、高い志と向上心を育成し、個々の生徒の進路実現を図ります。	① 「進路のしおり」の「キャリアパスポート編」「進路ノート編」「ポートフォリオ編」「資料編」等の内容を更に充実させ、積極的に活用することを通して、生徒一人一人が自己の進路意識を醸成する。 ② 最難関大学を志望する生徒を中心とした組織的・定期的な面談や、スタディサプリを効果的に活用した生徒の主体的な学習等を通して、生徒の向学心や進路意識を高める。	① 「進路のしおり」を更に充実させることによって、生徒の進路意識の醸成に繋げるだけでなく、学校推薦型選抜や総合型選抜に効果的に活用する。 ② 最難関大学20人以上、難関大学50人以上、国公立大学230人以上の合格を達成する。
4 心身共に健全で品格のある生徒の育成を図るとともに、生徒にとって安心安全な環境を整備します。	① 効果的な情報モラル教育や人権教育等を行い、生徒の人権意識を高めるとともに、昨年度改訂した本校のいじめ防止対策の基本方針を適切に運用する。 ② 本校の地域的特性や生徒の特質に応じて、想定される危険を明確にして「危機管理マニュアル」の見直し・改善を図り、生徒の安全を確保する。	① 生徒の人権意識を高め、情報モラル違反やいじめにより生徒の安心・安全な学校生活が脅かされないようにする。 ② 「危機管理マニュアル」の見直しを図ることで、適切かつ具体的な対応策を、教職員や生徒に提示する。